

未来の学びを考えるコミュニティ企画書(案)

平成 29 年 3 月 30 日
一般社団法人 情報サービス産業協会

1. 目的

小中高のプログラミング教育充実に関する意見を取りまとめ、情報発信するとともに、2020 年度から始まる「小学校プログラミング教育必修化」に向け、我が国の未来の教育の在り方について考察し、未来の学びコンソーシアムへのインプットを通じて、プログラミング教育を真に活かした内容にする。

2. 問題認識

プログラミング教育については、これまで JISA として小中学生を対象にプログラミングの楽しさを知ってもらい、ソフトウェアを身近に感じてもらうため「プログラミングワークショップ」を実施してきた。

2020 年度に小学校におけるプログラミング教育必須化が決まり、「プログラミング教育」への関心が高まってきている。しかしながら、具体的な指示がなく一部の現場関係者からは戸惑いが見られる。

3 月 9 日に文部科学省、総務省、経済産業省は、学校におけるプログラミング教育を普及・推進することを目的とした、「未来の学びコンソーシアム」を立ち上げた。イベントや Web サイト等を通じて、プログラミングの魅力や指導に役立つ教材等について情報提供が予定されている。また、本コンソーシアムの運営協議会には、企業関係者として JISA が参加し、官民が連携したプログラミング教育の普及促進に向けた取組の充実を図る。

そこで、JISA として、教育現場のニーズを把握したコンテンツ提供、人材による協力・支援等について関連機関の検討状況、諸外国におけるプログラミング教育等を踏まえ、有識者へのヒアリング等を実施し、我が国の未来の教育の在り方について考察し、未来の学びコンソーシアムへのインプットを通じて、2020 年からの小学校プログラミング教育を真に活かした内容にする。

3. 活動内容

- (1) 将来のプログラミング教育に関する業界意見の取りまとめと発信
- (2) 有識者のヒアリング
 - ・天才プログラマーはどう生まれたか
 - ・シリコンバレーの学びの仕組み
 - ・日本での数理科学教育の最前線
 - ・教育現場が抱えるプログラミング教育導入への課題
 - ・諸外国のプログラミング教育の現状
 - ・子ども達に伝えるプログラミングの楽しさ
- (3) 当業界における将来の IT 人材獲得に向けた環境整備

4. 実施体制(仮)

仮座長：(未来の学びコンソーシアム運営協議委員)
島田俊夫 (株)CAC Holdings 取締役会長

5. スケジュール

日程	内容
4月～6月	有識者ヒアリング(数回予定：確定は以下の2件) 4月 6日 小野和俊氏 (株式会社セゾン情報システムズ 常務取締役 / 株式会社アプレッソ 代表取締役社長) 5月12日(金沢市) 寺本大輝氏 (ハックフォープレイ株式会社 代表取締役社長)
7月中旬	中間まとめ、周知広報
8月以降	「未来の学びコンソーシアム」の状況に応じて進める

6. 事務局

企画調査部 溝尾元洋

以上